

## ウサビ狩人「八つ沼主釣り編 1」

### ウサビ狩人「八つ沼主釣り編 1」

それは、4月に役場の政策推進課で歓迎会をした時のことでした。

ふと、同僚のタダユキさんから、こんな言葉がでました。

タダユキさん「ウサビは釣りやらないのか？」

中の人「いやぁ、やったことないわけじゃないのですが

僕が落ち着きがないので苦手ですね。

でも、朝日町って釣りできそうな沼多いですよ。」

タダユキさん「そうそう、大きいフナとかいるからな。主釣りとか企画でやったらどうだ？」

中の人「なるほど、その企画いただきますね。」

「主釣り」という言葉に心ひかれた中の人はこの企画をずっと温めていました。

(中の中は未確認生物とかが大好き)

時は過ぎ、

発案者すら企画を忘れかけていた先日の日曜日。

桃色ウサビはタダユキさんおすすめ釣りスポット

八つ沼地区の春日沼にやってきました。



7月のカレンダーに使った帽子とアミを持ってくる



【春日沼とは】

湖底に雌雄の竜神が住むと伝わる神聖な池。

水は澄み、週末はヘラブナやコイ釣りで賑わう。

周囲は遊歩道が整備され、自然と歴史を楽しめる散歩コースとなっている。

湖面に木の葉一枚浮いていないのは、沼のお姫様が毎朝掃除するからと伝えられている。

(エコミュージアム・朝日町八ツ沼 史跡名所紹介より抜粋)

突如沼に現れた奇妙な着ぐるみ。



いまだに麦わら帽子が上手にかぶれない

道行く人には丁寧にごあいさつ



寒河江からいらしたご夫婦

そんな感じで進んでいくと…

ウサビ「知人発見！サタケく～ん！！」



そうなのです。

今回は政策推進課の同僚・サタケ君と一緒に釣り企画を行うことにしていたのです。



釣りにいそしむサタケ君



ウサビ「サタケ君、見て見て～」

サタケ君「……？」



ウサビ 「ドドスコスコスコ……」



ウサビ 「ナニ注入～！」



ウサビ 「どう？」

サタケ君 「相変わらず朝からテンション高いですね・・・」

ウサビ 「もちろんだとも！今日は2人で八ツ沼地区の自然を満喫しながら、

春日沼に棲む主を釣り上げようって企画なんだよ。

逆に、テンションがあがらないなんてわけがわからないよ！」

サタケ君 「あ、エサとられてた。」



テンションに温度差がある2人

サタケ君「ま、とりあえず竿と仕掛けは用意したんで、それ使ってみてください。」

ウサビ「ありがとー。助かる」



ウサビの手はミトン型なので、釣りには不向き

ウサビ「よーし、釣るぞ！！」





いつか有名になったらお礼をするねサタケ君。



サタケ君 「急に金曜日に釣りをしにいくって言われたんでびっくりしましたよ。」

ウサビ 「だって1人で釣りに行ったら、釣れなかった時に寂しいじゃん・・・」

それに、サタケ君も休日に1人で遊んでるのは寂しいかなって思って」

サタケ君 「なんで僕には友だちがいない前提で企画立てるんですか。」

ウサビ 「え？いるの？」

サタケ君「ちゃんといますよ！昼から予定はいってるんで、

ちゃっちゃんと釣り上げますよ、この沼の主を！！」



ウサヒ「ようやくやる気になったようだな。

はたして、ウサヒの腕前に勝てるかな？」

サタケ君「誰が釣具用意したと思ってるんですか。

常盤地区のグランダー武蔵こと、このサタケに勝てるとでも？」

(グランダー武蔵は、昔コロコロコミックで連載されていた釣り漫画です)

ウサヒの挑発でサタケ君の気持ちの準備完了。

いよいよ主釣りスタートです！！

はたして、沼の主は釣れるのか?? つづく…、